

年長 英語 1月

1, ねらい

- ・歌やジェスチャーを通じて友達とのコミュニケーションを図り、英語に親しみをもつ。
- ・ネイティブの講師による英語指導の中で英語や外国の文化について知る。

2, 活動のために準備した道具、環境設定

絵カード、笛、ぬいぐるみ

3, 活動の様子

英語講師	担任及び子どもの姿
新年初めての英語なので、「ニュー」と言う。ニューハローソングの歌を子どもと一緒に歌う。	教師が「新年ね」と言い、誰よりも大きい声で歌い、ワードを分かりやすく促す。子どもたちも毎回歌う歌なので、元気に楽しそうに歌う。
歌が終わる → 「sit-down」と手で座るしぐさをする	殆どの子が分かっている様子で座る。分からない様子の子に、「座りましょう」と声を出す。
ぬいぐるみを使って次への導入をする。 「House」「ピンポーン」「open the door」とぬいぐるみを使って、家の中に入るしぐさをする。	家の中に入る様子をじっと見ている。担任が、「家の中で何をするのかな」と次への期待を持たせる。
絵カードを使って、英語で「living」「kitchen」「Bath Room」「sleep」など室内の場所やそこですること等を言う。	講師の発音と同時に与えられる絵カードに合わせて、子どもたちも英語と一緒に単語を言う。担任も大きな声で、発音が分からない子が分かるように言う。日本語で「台所だね」「お料理するね」「お料理するの好きな人」など解説を付ける。
絵カードを繰り返し見せ、子どもたちと一緒に発音を繰り返す。	子どもたちも、絵カードを見て、講師や担任と一緒に「kitchen」「bedroom」「bathroom」、など、繰り返し絵カードの単語を発音する。

次の活動の説明のために手伝いを募る You can help 代表の子と講師がやって見せる。 「What do you do ?」と言って台所の絵カードを見せる。 腕をまるく組んで、フライパンに見立てている様子をします。 「Stand up」 「How many people」の歌を歌う。 [Two] 「Hello Hello What do you?」 ♪の歌で「Bath Room」の絵カードを出す。 色々な絵カードを用いて行う。 「Four」など、人数を変えながら繰り返す。	誰かいない？と挙手を促す 前にも経験があるため、自主的に手を挙げる子が数名いる。 座っている子どもたちが「お料理」「お料理」とヒントを出す。 代表の子は、講師のフライパンに見立てた腕の中をかき回すしぐさをする。 子どもたちが立って、講師と一緒に歌い、「Two」の合図で二人組になる。担任は二人組に慣れていないところに行って、アドバイスする。 お風呂になる子と、頭や体を洗う真似をする子に分かれて楽しんでいる。担任は意味が分からなかった様子の子の所に行き、サポートする。 歌いながら示された、数枚の絵カードに従って、真似っこ遊びをする。 指示に従った仲間を集め、絵カードに合わせて真似を楽しむ。
「Good bye song」を歌って、最後にジャンケンをして終了する。	講師とみんなと一緒に楽しそうに体を跳躍させながら歌って楽しんだ。

4. 振り返り

- ・担任は講師の言っていることが分かっていない様子の子を素早くキャッチし、サポートに行き大きな声で発音をして、子どもたちが取り残されないようにしていた。
- 異国語が苦手な幼児も、全体の楽しさが伝わるような日本語の解釈を付けることで、分かって楽しめることにつながり、意欲を持って取り組めることを意識していた。
- ・担任個人の英語の力量に左右されないように、その日の事前打ち合わせ、担任がサポートしたほうが良いと予測できる打ち合わせの必要性を感じた。
 - ・繰り返し声に出したり、動いたりしていくうちに幼児も周りの子の反応を視覚から理解でき、徐々にやっていることが理解できていた。
- 担任が幼児の行動をサポートする援助や、単語を日本語化して分かるようにしていくことがやる気につながっていく。そのためにも、子どもの姿、不安な様子を見逃さないことが大事と感じた。

